

	<p>ってすぐに振り返りカードにまとめていた。</p> <p>10月18日 第2回ポッチャ体験会（3・4年生） 講話はポッチャという競技や日本チームの目指すもの等、学年に応じた配慮をしていただき理解しやすいものだった。体験する時間も多く、全員がポッチャの醍醐味を味わうことができた。また、しっかりとお礼の言葉を代表児童が述べることができた。</p>  <p>11月21日 第3回ポッチャ体験会（1・2年生） 発達段階に合わせて映像も多用していただいた講話を経て、体験会を行った。國分氏の熱心な説明や手本で理解を深めゲームに入る。低学年児童の腕力でも十分にジャックボールに届き、微妙な力加減やチームワークの大切さを自然に身につけていった。代表児童のお礼の言葉の後、何度もガンバレ日本コールをし、國分氏と全員がハイタッチして別れるという心温まる会となった。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>ポッチャという競技は聞いたことはあるが、実際に触れたことのある児童はほとんどいないのが現状であったが、今回は全員が体験することができ、興味を持ったり理解を深めたりすることができた。それは、國分氏のポッチャに対する情熱を児童が理解しやすいように伝えてくださったことによる。3回の講演も実技体験の進め方も、その都度児童に合わせて変更しながら行っていただいた。全校児童が行った体験会であり、2学期終業式の作文発表では、1年児童の2学期で一番心に残ったこととして紹介された。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>体育館に8面のコートを作成し、ポッチャセットも8セット（大笹生特別支援学校・県北教育事務所・佐原小学校）借用し、全児童が体験できるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>今回はポッチャセットを8セット（大笹生特別支援学校・県北教育事務所・佐原小学校）借用できたが、本校の備品はないので、プレイしたい時にすぐにできないことである。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピック・パラリンピックイヤーを迎えるので、特に調べ学習と様々な体験を結びつけて学びを継続していく。</p>